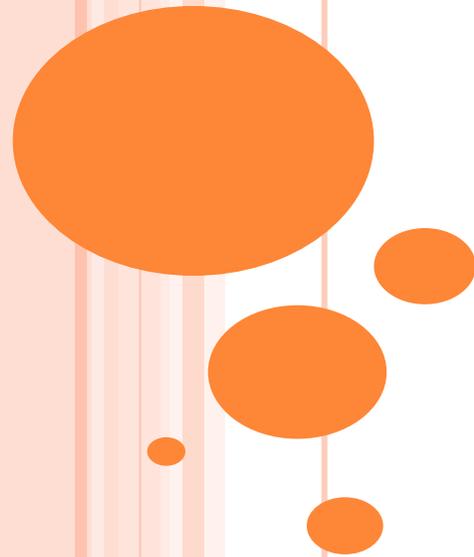


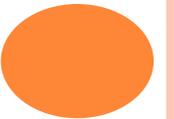
石井ゼミの活動

瀬谷 祐一
中村 拓未
桑原 樹



石井ゼミのテーマ

- 地域復興におけるキャラクターコンテンツの研究と実践



ローカルヒーローとは

- ご当地ヒーローと呼ばれ、各都道府県に存在する
- ステージショーを中心に活動し、東日本大震災発生時は無償のステージショー、募金活動、さらに実際に被害者を助けるなど、福祉活動を積極的に行っている
- ローカルヒーローの活動、目的、内容などはそれぞれ大きく異なる



ローカルヒーローの認識

- ローカルヒーローという名称でくくられる活動が実に多様であり定義づけが困難である
- 調査者からの認識と実際に活動している団体からの認識とに二分できる
- 共通してみられるのが、地域で活動し、地域を活性化するという活動目的である



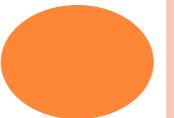
ローカルヒーローの課題

- ローカルヒーローのテーマで設定可能な課題はまだまだ多く、他のボランティア活動、観光業、メディアなどとの関係は重要なテーマである
- 正義、平和といったテーマと共に、悪と戦うとはいえ暴力をふるうことについても、地域PRや公共団体のキャラクターが子どもに見せるコンテンツとして考慮する
- 活動の規模もローカルヒーローごとにかかなりの差がある



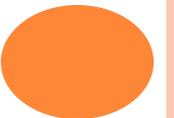
石井ゼミナールの概要

- 「ローカルヒーロー」を石井ゼミナールに所属する3、4年生の大学生達と共に運営する教育実践を行っている。
- ローカルヒーローの調査研究、実践によってゼミ生達は自身の様々な能力、特に団体運営に必要なコミュニケーション能力に繋がる取り組みを行っている

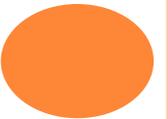


活動内容

石井ゼミナールの活動は大きく分けて三段階に分けられる

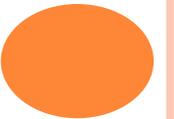


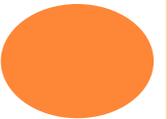
- ①フィールドワークに基づくローカルヒーローの情報収集と分析
 - ②分析・研究成果のプレゼンテーションと議論
- 自分で興味あると思ったローカルヒーローのステージショーや活動を現地に観に行きまとめる
 - 実際にまとめた内容をパワーポイントで発表し議論を通して分析する



③議論を踏まえた普遍化・モデル化と実践

- オープンキャンパスや留学生歓迎会などにも参加し、大学内を盛り上げる
- 各お祭りやイベントなどに、自分がヒーローとして参加をし、子供たちや他団体の方と交流を計る





石井ゼミで磨ける能力

- 体力
- 情報のインプット能力(情報収集と分析能力)
- 情報のアウトプット能力(プレゼンテーション能力、普遍モデルの構築能力)
- 地域課題、社会問題への理解力
- 団体活動を成功させる協調性
- 組織体の運営力
- 芸術的表現



卒業生の活動感想

- ・ショーで体を動かし、シナリオ会議で頭を使い次のための感想、反省点を話すことでコミュニケーションをとったり、心で感じたりと、全身で成長できた二年間だと思う。また、個人個人の長所や特技を作って一つの作品を作り上げることにチームワークを感じる事ができた。
- ・ステージショーの際、観覧していた子ども達から「ぼくもそんなカッコいいヒーローになりたい」と言われたことに素直に感動し、ヒーローとしては最高の賛辞を受けた。また、周囲からの評価も向上し、動きや殺陣を認められていったことに成長を感じた。





ご清聴ありがとうございました